

高機動ロケット砲(HIMARS)持ち込みが判明 約束違反の訓練拡大に断固抗議する！

在沖縄米海兵隊の第3海兵師団関連の記事が載る「dvidshub.net」に、10月20日、矢臼別演習場で米海兵隊が自衛隊に対し155mmリゅう弾砲について「説明」をしている動画が掲載されました。1分半ほどの短い動画ですが、その終盤に、高機動ロケット砲システム(HIMARS=ハイマース)が矢臼別演習場に持ち込まれていると分かる場面が出てきます。※この動画は削除されました。

この動画について、連絡会から防衛局現地対策本部に問い合わせたところ、広報官は「ハイマースを持ってきている」と、持ち込みの事実を明らかにしました。同時に連絡会の「ロケット砲の射撃をしているのではないかと我々は疑念を持っているがどうか」の問いには「射撃はしていない」との回答でした。

連絡会側から「23日夜間の射撃が激しく行われたが、その中に、『シュー』という極めて小さい発射音の後に『ヒュー——』という風を切る音がし、発射してから36~37秒後に着弾音が聞こえる…という砲撃があったが、これはロケット砲ではないか。演習場内で撃っているのだから、リゅう弾砲ならいくら遠くから撃ったとしても大きな発射音が聞こえるはずだ。発射音がほとんど聞こえない155mmリゅう弾砲があるのか説明してほしい。納得のいく説明がない限り、我々のロケット砲の射撃がされたという疑念は払しょくされない。」と、さらに説明を求めました。広報官は「調べてお答えする」と約束しました。

いずれにしても、今回、在沖縄米海兵隊がハイマースを矢臼別演習場に持ち込んでいることが明らかになりました。「沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施」つまり、155mmリゅう弾砲の実弾射撃訓練のはずだったものが、夜間訓練や小火器訓練など、次々と訓練内容が拡大されて、さらに今回はロケット砲の持ち込みにまで至っているというのは、明らかな約束違反です。許しがたいことであり断固抗議するものです。

これまでの射撃数(現地監視本部カウント)

	22日(金)	23日(土)	24日(日)	25日(月)	計
08:30~12:00	8(発射音小)	0	49	20	77
12:00~16:30	1	4	107	28	140
日 中 計	9	4	156	48	217
19:00~21:30	13	66(発射音小)	0	10	89
合 計	22	70	156	58	306
監視活動参加者	13人	18人	13人	15人	延べ59人